

「市民の考古学」実践の記録  
馬場小室山と  
出会ったこの1年



2005. 10. 1～2 フォーラム「馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム-見沼をのぞんだ縄文むら-」

By 藤由美(「さわらび通信」)



2004. 10. 2 発掘調査が終わってはじめての週末・・・



馬場小室山の静かな森に残された遺跡



私たちと馬場小室山とのかわりには ここから始まった



2004. 10. 11 まだ大土坑の跡も残っていた



2004. 10. 16 馬場小室山遺跡に・・・



・・・とうとう 重機が入った



地響きが付近にとどろき・・・



未調査の盛土遺構の部分に迫ってきて・・・



伐採される巨木の根っことともに



遺跡が破壊された！



遺構の中の土器が散乱する状況が続いた



2004. 10. 23 埋められた遺跡に大雨の続いた後・・・



私たちは土器や石器を探した



どろんこに混じって数千年の眠りからさめた遺物は



目を凝らして探せばいくらでも見つかった



泥だらけの土器や石器を小室神社の参道に並べて



その種類と数の多さに破壊された遺跡の重さを実感した



炭化物のつまったままの土器底部、そして石器



二重口縁の美しい加曾利E式土器



そして 2004. 11. 3 深まりゆく三室の秋



未調査の部分を壊しながら、造成工事は進んでいきます



2004. 11. 23 晩秋の日ざしの中 誘い合って現地見学会を始めました



遺跡全体とその歴史を把握するため、周囲を一周



遺跡の西側の擁壁工事現場



北側の道路沿いに、飯塚さんが立てた手づくりの説明板



巨木が茂る小室神社境内



すり鉢状の中央の窪地



未調査のままだった盛土遺構は



完全に整地されました



帰りに四本竹遺跡で見た見沼の夕陽



2004. 11. 30 手づくりの看板が目をひきます



2004. 12. 26 馬場小室山遺跡研究会発足！



ささやかな呼びかけにおおぜいの方が集まりました



地図を見ながら「今、縄文中期の遺跡の広がる南側にいます」



窪地の端にある小室神社は神秘的



窪地の竹林のなかで



北側の盛土の斜面で、小室山の「語り部」正博さんのお話



先月集めた泥だらけの土器で、主な土器型式を習いました



馬場小室山遺跡とのかかわりが今始まったばかりの2004年暮れでした。

[→2005年第2部へ続く](#)